

※保護者の方へ：必ず読んでから接種してください。

麻しん風しん混合予防接種（MR）説明書

1. 麻しんと風しんの病気・症状について

麻しんは、感染力が強く、予防接種を受けないと多くの人がかかる病気です。主な症状としては、発熱・せき・鼻汁・目やに・発疹等があります。主な合併症としては、気管支炎・肺炎・中耳炎・脳炎があります。特に3歳以下の乳幼児が肺炎、脳炎を併発した場合は重症化することが多いので、より注意が必要です。

風しんの主な症状は、軽いかぜ症状ではじまり、発疹・発熱・後頸部リンパ節腫脹などがあります。発疹も熱も三日で治るので「三日ばしか」ともいわれています。合併症としては、関節痛・血小板減少性紫斑病・脳炎などが報告されています。妊婦が妊娠早期にかかるると先天性風しん症候群と呼ばれる病気により心臓病・白内障・聴力障害などの障害を持った子が生まれる可能性が高くなります。

2. 麻しん風しん混合（MR）ワクチンの有効性と副反応について

MRワクチンは、麻しん（はしか）と風しんの二つの病気を予防するワクチンです。

主な副反応は発熱・発疹で、これらの症状は接種後4～14日に多く出ます。なお、接種直後から数日中に過敏症状と考えられる発熱、発疹、かゆみなどがでることがありますが、1～3日で治ります。これまでの麻しんワクチン、風しんワクチンの副反応データから、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、脳炎、けいれんなどの副反応がまれに生じる可能性もあります。

《接種場所》 麻しん風しん混合予防接種（MR）協力医療機関

《対象年齢》 第1期 生後12か月から24か月に至るまでの間にある者
第2期 5歳以上7歳未満の者であって、小学校就学前の1年間（幼稚園等の年長児）

《費用》 全額助成

3. 接種にあたっての注意事項

予防接種の実施においては、体調の良い日に行うことが原則です。お子様の健康状態が良好でない場合には、かかりつけ医等に相談の上、接種するか否かを決めてください。また、お子様が以下の状態の場合には予防接種を受けることができません。

- ① 明らかに発熱（通常37.5℃以上をいいます）がある場合
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな場合
- ③ 受けるべき予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある場合
- ④ 明らかに免疫機能に異常のある疾患を有する場合及び免疫抑制をきたす治療を受けている場合
- ⑤ 現在、妊娠している場合
- ⑥ その他、医師が不適当な状態と判断した場合



4. 予防接種による健康被害救済制度について

定期の予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障が出るような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく補償を受けることができます。

健康被害の程度に応じて、医療費、医療手当、障害児養育年金、障害年金、死亡一時金、葬祭料の区分があり、法律で定められた金額が支給されます。死亡一時金、葬祭料以外については、治療が終了する又は障害が治癒する期間まで支給されます。

ただし、その健康被害が予防接種によって引き起こされたものか、別の要因（予防接種をする前あるいは後に紛れ込んだ感染症あるいは別の原因等）によるものなのかの因果関係を、予防接種・感染症医療・法律等、各分野の専門家からなる国の審査会にて審議し、予防接種によるものと認定された場合に補償を受けることができます。

※給付申請の必要が生じた場合には、湯沢市子ども未来課へご連絡ください。

《接種後の注意》

- ① 予防接種を受けた後30分間は、実施場所でお子さんの様子を観察しましょう。
- ② 接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすらないようにしましょう。また、激しい運動はさけましょう。
- ③ 予防接種後1か月間は、抜歯・扁桃腺摘出術・ヘルニア手術等は原則としてさけることが望ましいといわれています。
- ④ 麻しん風しん混合（MR）ワクチン接種後、水痘やおたふくかぜの予防接種を受ける場合は27日以上間隔をあけてください。

問い合わせ 湯沢市子ども未来課（こども家庭センター）
子ども子育て応援班 電話：55-8275